

図 解 交通年鑑

(平成22年版)



TOTTORI POLICE

鳥 取 県 警 察 本 部

目 次

1	全国の交通事故	1
(1)	全国の交通事故の推移	1
(2)	都道府県別交通事故死者数	2
2	鳥取県の交通事故	3
(1)	鳥取県の交通事故の推移	3
(2)	市町村別発生状況及び人口1万人当たりの発生率	4
(3)	月別発生状況	5
(4)	曜日別発生状況	5
(5)	時間別・昼夜別発生状況	6
(6)	道路別発生状況	7
(7)	事故類型別発生状況	7
(8)	年齢層別死傷者数	8
(9)	状態別死傷者数	8
3	子供の交通事故	9
(1)	子供の交通事故の推移	9
(2)	学齢別死傷者数	9
(3)	状態別死傷者数	10
4	高齢者の交通事故	11
(1)	高齢者の交通事故の推移	11
(2)	状態別死傷者数	11
(3)	男女別死傷者数	12
(4)	高齢者(第1当)事故件数	12
5	歩行者の交通事故	13
(1)	歩行者の交通事故の推移	13
(2)	年齢層別死傷者数	13
(3)	事故類型別死傷者数	14
(4)	歩行者の違反別死傷者数	14
6	自転車の交通事故	15
(1)	自転車の交通事故の推移	15
(2)	年齢層別死傷者数	15
(3)	事故類型別死傷者数	16
(4)	自転車の違反別死傷者数	16
7	二輪車(自動二輪・原付)の交通事故	17
(1)	二輪車の交通事故の推移	17
(2)	年齢層別死傷者数(二輪車乗車中)	17
(3)	事故類型別死傷者数	18
(4)	二輪車の違反別死傷者数	18
8	交通死亡事故発生状況	18
(1)	年齢層別・状態別死者数	19
(2)	第1当事者の年齢層別・状態別件数	19
(3)	第1当事者の状態別・違反別件数	20
(4)	路線別・道路形状別件数	20

1 全国の交通事故

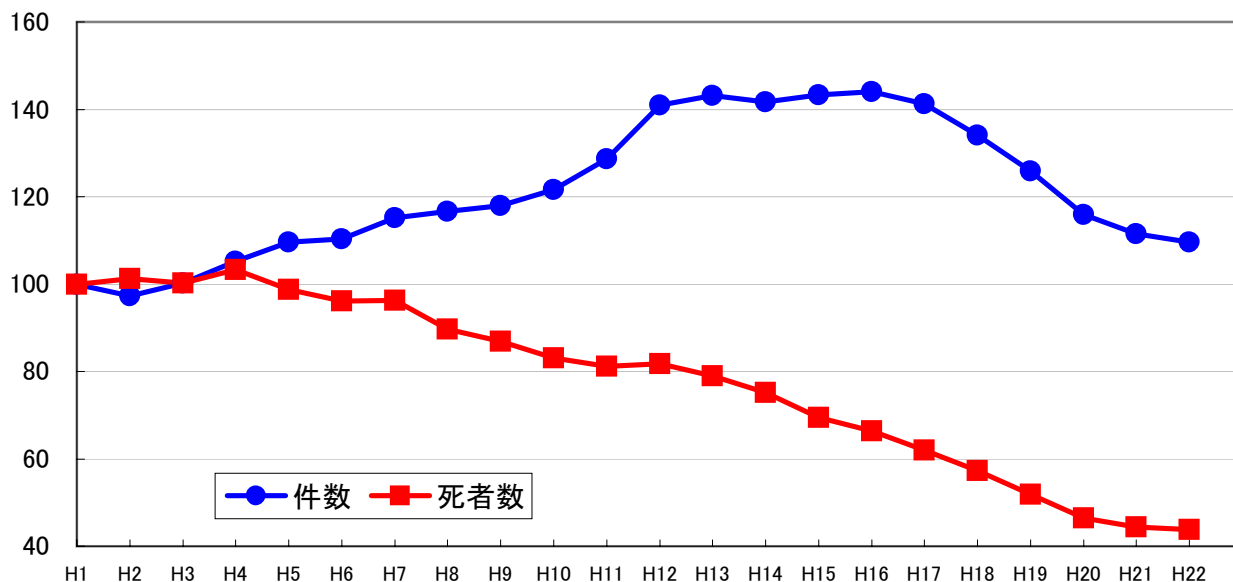
(1) 全国の交通事故の推移

全国の死者数は10年連続で減少し、昭和27年以来、57年振りに4千人台となった前年を下回った。

また、発生件数、負傷者数も6年連続で減少し、負傷者数は16年振りに90万人を下回った。

(注) 指数は、平成元年を100とする。

(指数)



区分 年別	件数	死者数	負傷者数	区分 年別	件数	死者数	負傷者数
昭和44年	720,880	16,257	867,000	2	643,097	11,227	790,295
45	718,080	16,765	981,096	3	662,388	11,105	810,245
46	700,290	16,278	949,689	4	695,345	11,451	844,003
47	659,283	15,918	889,198	5	724,675	10,942	878,633
48	586,713	14,574	789,948	6	729,457	10,649	881,723
49	490,452	11,432	651,420	7	761,789	10,679	922,677
50	472,938	10,792	622,467	8	771,084	9,942	942,203
51	471,041	9,734	613,957	9	780,399	9,640	958,925
52	460,649	8,945	593,211	10	803,878	9,211	990,675
53	464,037	8,783	594,116	11	850,363	9,006	1,050,397
54	471,573	8,466	596,282	12	931,934	9,066	1,155,697
55	476,677	8,760	598,719	13	947,169	8,747	1,180,955
56	485,578	8,719	607,346	14	936,721	8,326	1,167,855
57	502,261	9,073	626,192	15	947,993	7,702	1,181,431
58	526,362	9,520	654,822	16	952,191	7,358	1,183,120
59	518,642	9,262	644,321	17	933,828	6,871	1,156,633
60	552,788	9,261	681,346	18	886,864	6,352	1,098,199
61	579,190	9,317	712,330	19	832,454	5,744	1,034,445
62	590,723	9,347	722,179	20	766,147	5,155	945,504
63	614,481	10,344	752,845	21	737,474	4,914	911,108
平成元年	661,363	11,086	814,832	22	725,773	4,863	896,208

(2)都道府県別交通事故死者数

都道府県		死者数	人口 当り	車両台数 当り	免許人口 当り	道路実延長 当り	走行台 ^{キロ} 当り
北海道		215	3.904	0.539	0.638	2.397	0.738
東北	青森	66	4.786	0.590	0.765	3.363	0.866
	岩手	67	5.000	0.584	0.796	2.026	0.779
	宮城	80	3.425	0.449	0.532	3.250	0.749
	秋田	60	5.474	0.650	0.866	2.524	0.803
	山形	51	4.326	0.488	0.655	3.104	0.634
福島		112	5.490	0.634	0.847	2.875	0.951
東京		215	1.671	0.414	0.288	8.943	1.256
関東	茨城	205	6.926	0.755	1.007	3.654	1.242
	栃木	146	7.278	0.788	1.052	5.877	1.287
	群馬	94	4.684	0.493	0.670	2.687	0.889
	埼玉	198	2.777	0.448	0.436	4.239	1.190
	千葉	184	2.997	0.471	0.468	4.577	1.100
東奈	神奈川	182	2.035	0.387	0.331	7.203	1.286
	新潟	126	5.299	0.606	0.799	3.375	0.876
	山梨	49	5.652	0.584	0.824	4.414	1.096
	長野	110	5.095	0.527	0.742	2.298	0.944
	静岡	165	4.351	0.516	0.645	4.526	1.091
中部	富山	58	5.297	0.613	0.780	4.227	0.904
	石川	64	5.494	0.688	0.837	4.903	1.001
	福井	42	5.198	0.600	0.781	3.906	0.820
	岐阜	133	6.358	0.749	0.941	4.361	1.092
	愛知	197	2.656	0.366	0.400	3.959	0.791
近畿	三重	135	7.219	0.811	1.074	5.425	1.243
	滋賀	78	5.552	0.685	0.835	6.359	1.110
	京都	96	3.661	0.559	0.605	6.273	1.194
	大阪	201	2.284	0.441	0.399	10.467	1.188
	兵庫	192	3.439	0.541	0.558	5.316	1.039
畿奈	奈良	45	3.217	0.448	0.496	3.588	0.871
	和歌山	52	5.179	0.549	0.756	3.898	0.991
中国	鳥取	42	7.107	0.833	1.093	4.810	0.949
	島根	31	4.318	0.509	0.668	1.711	0.600
	岡山	109	5.613	0.633	0.847	3.411	1.044
	広島	127	4.436	0.574	0.688	4.440	1.060
	山口	96	6.598	0.803	1.024	5.837	1.078
四国	徳島	44	5.577	0.632	0.825	2.924	0.886
	香川	65	6.507	0.724	0.959	6.355	1.190
	愛媛	64	4.457	0.521	0.681	3.546	0.887
	高知	52	6.789	0.762	1.043	3.769	1.094
九州	福岡	170	3.364	0.471	0.533	4.585	0.962
	佐賀	58	6.808	0.782	1.029	5.396	1.066
	長崎	52	3.636	0.476	0.604	2.902	0.774
	熊本	78	4.300	0.505	0.656	3.039	0.834
	大分	65	5.439	0.629	0.834	3.585	0.864
	宮崎	51	4.505	0.492	0.665	2.560	0.746
	鹿児島	94	5.504	0.607	0.834	3.492	0.983
沖縄		47	3.401	0.416	0.533	5.893	0.839
合 計		4,863	3.814	0.537	0.600	4.026	0.991

- 注 1 「人口当り」は10万人当りの死者数で、算出の基礎となった人口は総務省の平成21年10月1日現在の推計人口である。
- 2 「車両台数当り」は1万台当りの死者数で、算出の基礎となった車両台数は平成22年10月末現在の国土交通省資料による。
- 3 車両台数に含まれている「原付台数」「小特」（ミニカーを含む。）は平成21年4月1日現在の総務省資料による。
- 4 「免許人口当り」は1万人当りの死者数で、算出の基礎となった免許人口は平成22年12月末現在である。
- 5 「道路延長当り」は1000km当りの死者数で、算出の基礎となった道路延長は平成21年4月1日現在国土交通省道路局企画課資料による。
- 6 「走行台^{キロ}当り」は1億走行台^{キロ}当りの死者数で、平成17年道路交通センサスによる路線（一般道路計）の走行台^{キロ}から算出。

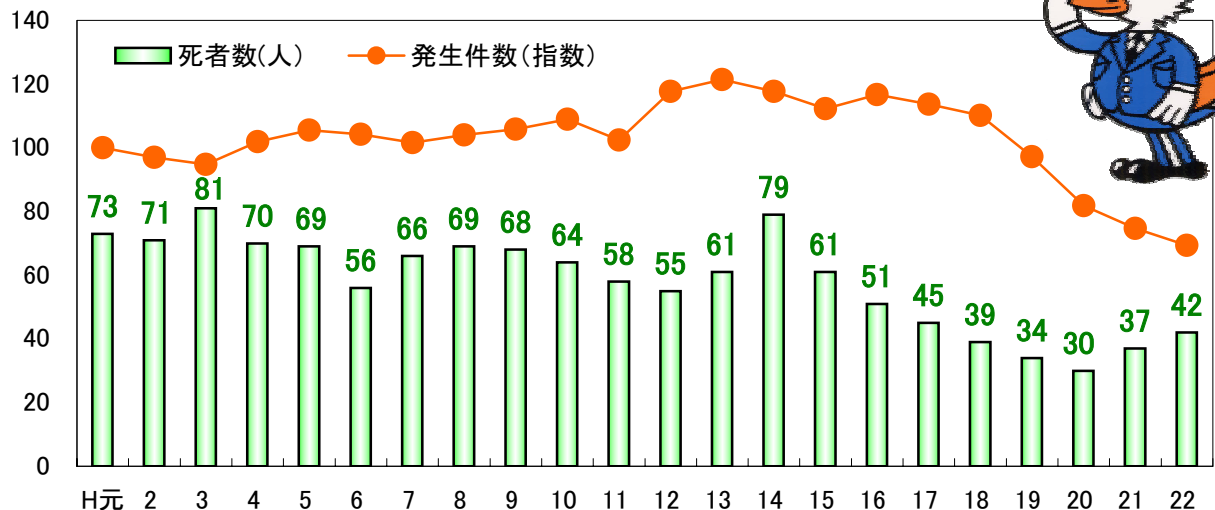
2 鳥取県の交通事故

(1) 鳥取県の交通事故の推移

発生件数、負傷者数は6年連続して減少した。

死者数は、7年振りに増加に転じた前年を上回り、平成17年以来の40人台となった。

(指数)



(注) 指数は、平成元年を100とする。

区分 年別	死 者 数	区分 年別	死 者 数	区分 年別	件 数	死 者 数	負 傷 者 数
昭和24年	9	昭和45年	117	平成3年	2,477	81	2,980
25	18	46	134	4	2,663	70	3,123
26	24	47	120	5	2,757	69	3,175
27	31	48	109	6	2,724	56	3,070
28	21	49	72	7	2,654	66	2,970
29	32	50	89	8	2,717	69	3,103
30	38	51	90	9	2,765	68	3,075
31	42	52	61	10	2,846	64	3,217
32	34	53	54	11	2,677	58	3,413
33	45	54	52	12	3,074	55	3,943
34	60	55	61	13	3,172	61	4,152
35	38	56	57	14	3,075	79	4,051
36	63	57	71	15	2,934	61	3,772
37	49	58	69	16	3,048	51	3,992
38	55	59	61	17	2,970	45	3,905
39	50	60	60	18	2,878	39	3,698
40	85	61	58	19	2,539	34	3,236
41	87	62	53	20	2,138	30	2,733
42	104	63	50	21	1,952	37	2,439
43	106	平成元年	73	22	1,812	42	2,273
44	112	2	71				

(2) 市町村別発生状況及び人口1万人当たりの発生率

	発生件数		死者数		負傷者数		人口*	第一当居住地別	
		1万人当り		1万人当り		1万人当り		発生件数	1万人当り
岩美町	29	23.5	2	1.6	34	27.5	12,342	45	36.5
鳥取市	739	37.4	4	0.2	926	46.9	197,510	612	31.0
八頭町	30	16.2	2	1.1	39	21.1	18,491	57	30.8
若桜町	6	16.0	0	0.0	7	18.6	3,757	13	34.6
智頭町	10	12.8	0	0.0	18	23.0	7,814	19	24.3
湯梨浜町	49	28.6	4	2.3	61	35.7	17,109	35	20.5
三朝町	9	12.9	2	2.9	7	10.0	7,002	17	24.3
倉吉市	114	22.6	3	0.6	135	26.8	50,393	112	22.2
北 栄 町	34	22.1	1	0.7	46	29.9	15,364	39	25.4
琴浦町	62	33.7	4	2.2	81	44.0	18,399	42	22.8
大山町	35	20.0	0	0.0	47	26.8	17,533	45	25.7
日吉津村	15	45.7	0	0.0	15	45.7	3,282	9	27.4
米子市	539	36.4	8	0.5	674	45.5	148,060	391	26.4
南部町	13	11.3	2	1.7	12	10.4	11,554	38	32.9
境港市	71	20.2	1	0.3	84	23.9	35,122	81	23.1
伯耆町	43	36.9	6	5.2	72	61.8	11,648	34	29.2
江府町	2	6.0	0	0.0	3	9.1	3,311	4	12.1
日野町	3	8.1	0	0.0	4	10.7	3,725	12	32.2
日南町	9	16.8	3	5.6	8	14.9	5,356	8	14.9
合計	1,812	30.8	42	0.7	2,273	38.7	587,772	1,613	27.4

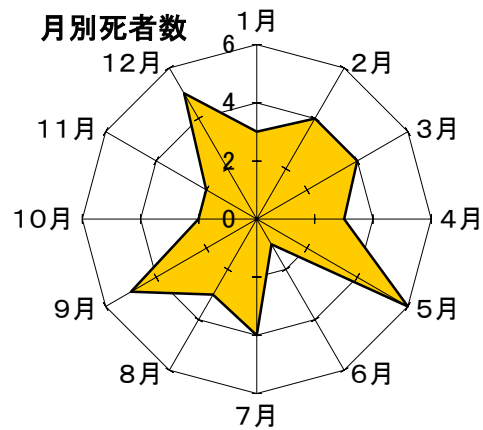
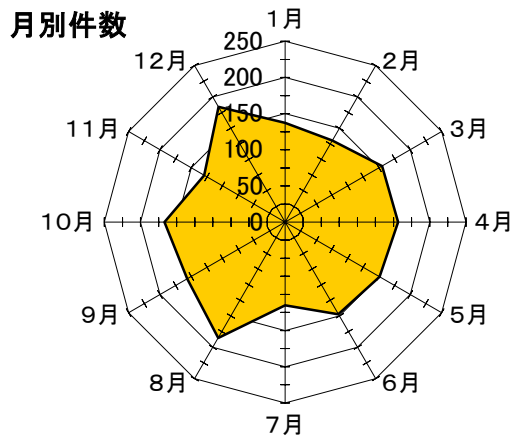
* 平成22年10月1日現在の推計人口(鳥取県統計課資料で算出)

県外者	183
不 明	16
総計	1,812

(3) 月別発生状況

発生件数は、8月、12月の順に多く発生した。また、7月は最も少なく115件であった。

死者数は、5月が6人と最多であり、6月は1人と最少であった。



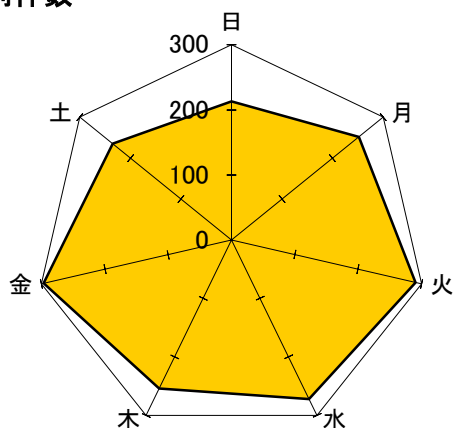
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合 計
発生件数	137	130	155	156	151	147	115	185	156	167	129	184	1,812
死者数	3	4	4	3	6	1	4	3	5	2	2	5	42
負傷者数	180	155	187	196	194	176	141	246	183	199	171	245	2,273

(4) 曜日別発生状況

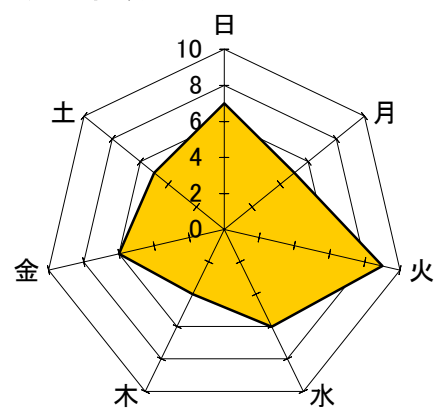
発生件数は、金曜日が296件と最も多く、日曜日が213件で最も少ない。

死者数は、火曜日が9人で最も多く、木曜日が4人と最も少ない。

曜日別件数



曜日別死者数



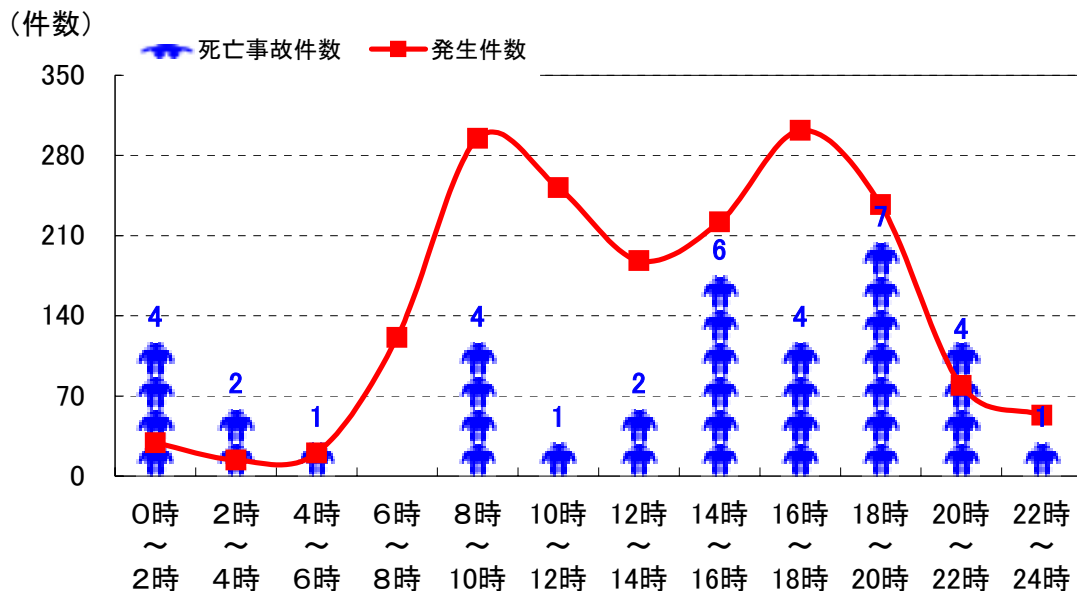
	日	月	火	水	木	金	土	合 計
発生件数	213	252	290	272	254	296	235	1,812
死者数	7	5	9	6	4	6	5	42
負傷者数	321	309	341	318	323	341	320	2,273

(5) 時間別・昼夜別発生状況

ア 時間別

発生件数は、午前6時ころから増え始め、朝夕の通勤通学時間帯に最も多く発生している。

死亡事故は、午後2時から午後8時までの間に17件(47.2%)発生している。

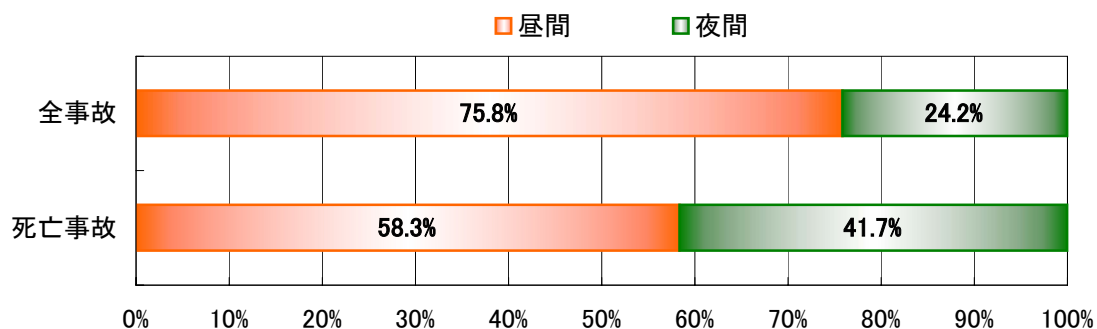


発生時間	0～2	2～4	4～6	6～8	8～10	10～12	12～14	14～16	16～18	18～20	20～22	22～24	合計
発生件数	29	14	20	121	295	252	188	222	302	237	79	53	1,812
死亡事故件数	4	2	1		4	1	2	6	4	7	4	1	36

イ 昼夜別

全事故の75.8%が昼間に発生している。

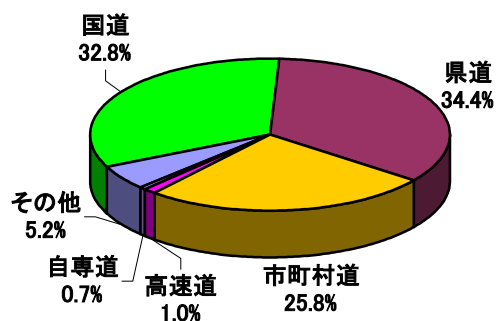
死亡事故は、全事故と比較して夜間に発生する割合が高い。



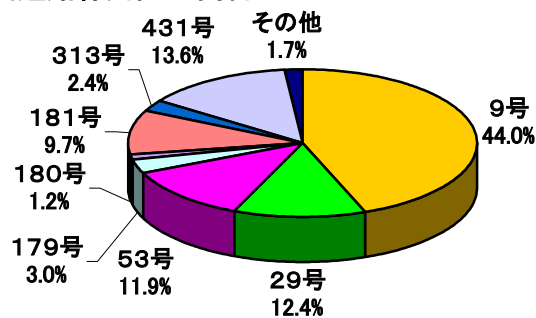
	昼間	夜間	合計
全事故件数	1,374	438	1,812
死亡事故件数	21	15	36

(6) 道路別発生状況

道路別発生割合



国道路線別発生割合

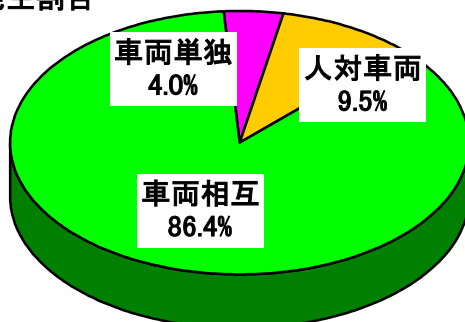


	国 道									
	9号	29号	53号	179号	180号	181号	313号	431号	その他	計
件 数	262	74	71	18	7	58	14	81	10	595

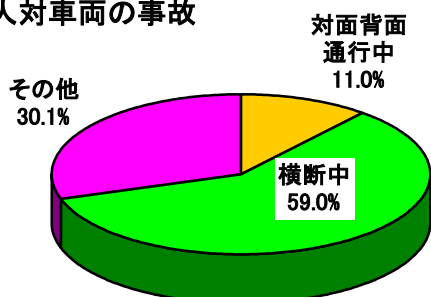
	高速道	自専道	県道			市町村道	その他	合計
			主要	一般	計			
件 数	19	13	250	373	623	467	95	1,812

(7) 事故類型別発生状況

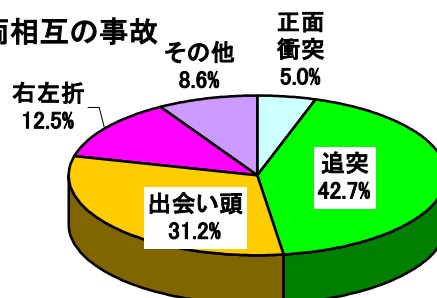
類型別発生割合



人対車両の事故



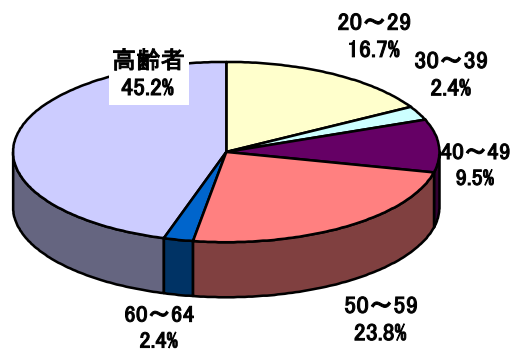
車両相互の事故



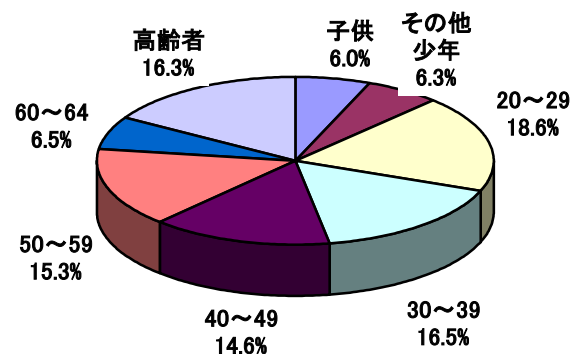
	人 対 車 両			車 両 相 互					車 両 単 独		列車	合計
	対面 背面 通行中	横断中	その他	正面 衝突	追突	出会い頭	右左 折時	その他	工作物 衝突	その他		
件数	19	102	52	79	668	489	195	135	41	32		1,812
総数	173			1,566					73			1,812

(8) 年齢層別死傷者数

年齢層別死者の割合



年齢層別負傷者の割合

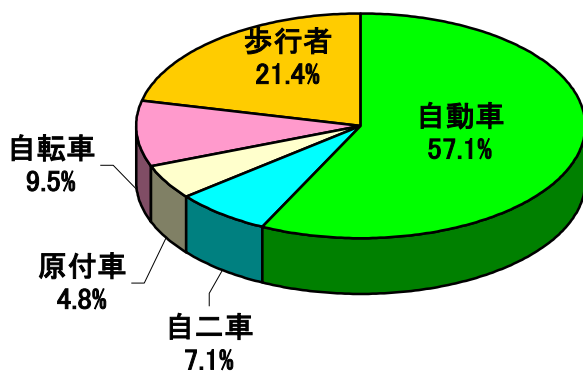


	子供	その他少年	20代	30代	40代	50代	60～64	高齢者	合計
死者数			7	1	4	10	1	19	42
負傷者数	136	144	422	374	332	347	148	370	2,273

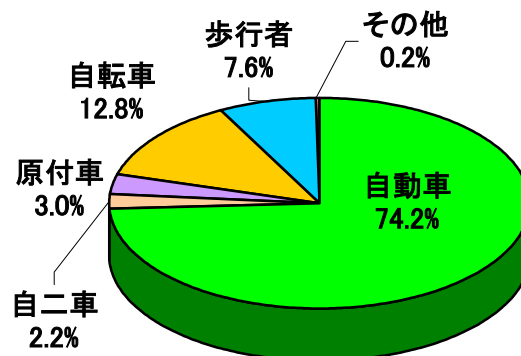
※ 子供は、中学生以下

(9) 状態別死傷者数

状態別死者の割合



状態別負傷者の割合



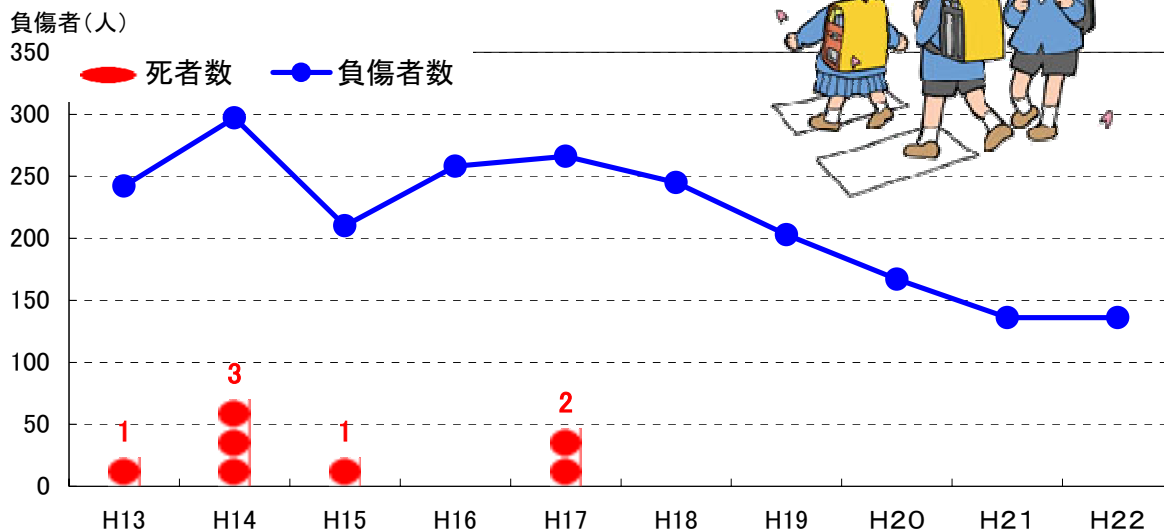
	自動車		自二車		原付車		自転車		歩行者	その他	合計
	運転	同乗	運転	同乗	運転	同乗	運転	同乗			
死者数	17	7	3		2		4		9		42
負傷者数	1,237	450	44	6	68		290	1	173	4	2,273

3 子供の交通事故

(1) 子供の交通事故の推移

負傷者数は、平成21年と同数で推移

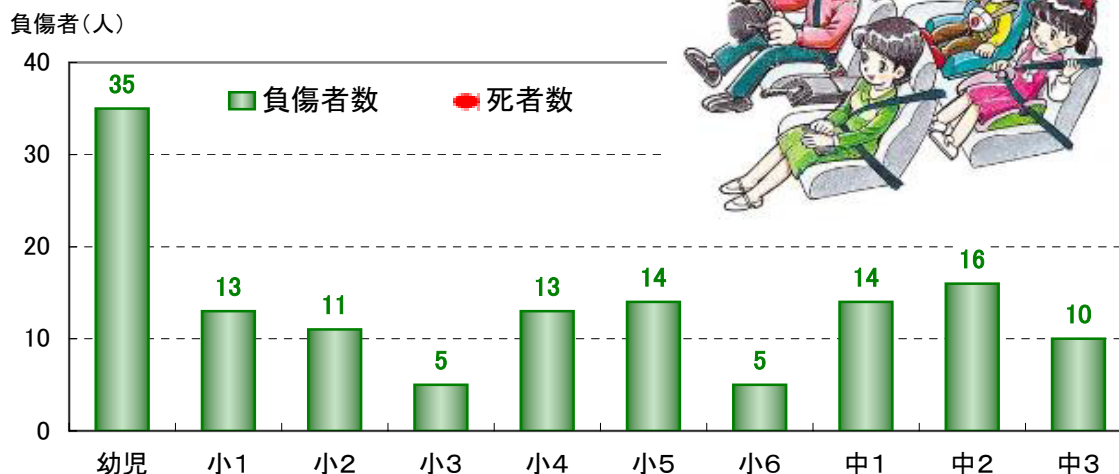
死者は、平成18年以降5年連続で0人であった。



	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22
死者数	1	3	1		2					
負傷者数	242	297	210	258	266	245	203	167	136	136

(注: 子供は中学生以下)

(2) 学齢別死傷者数



	幼児	小学生						中学生			合計
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	1年	2年	3年	
死者数											
負傷者数	35	13	11	5	13	14	5	14	16	10	136

(3) 状態別死傷者数

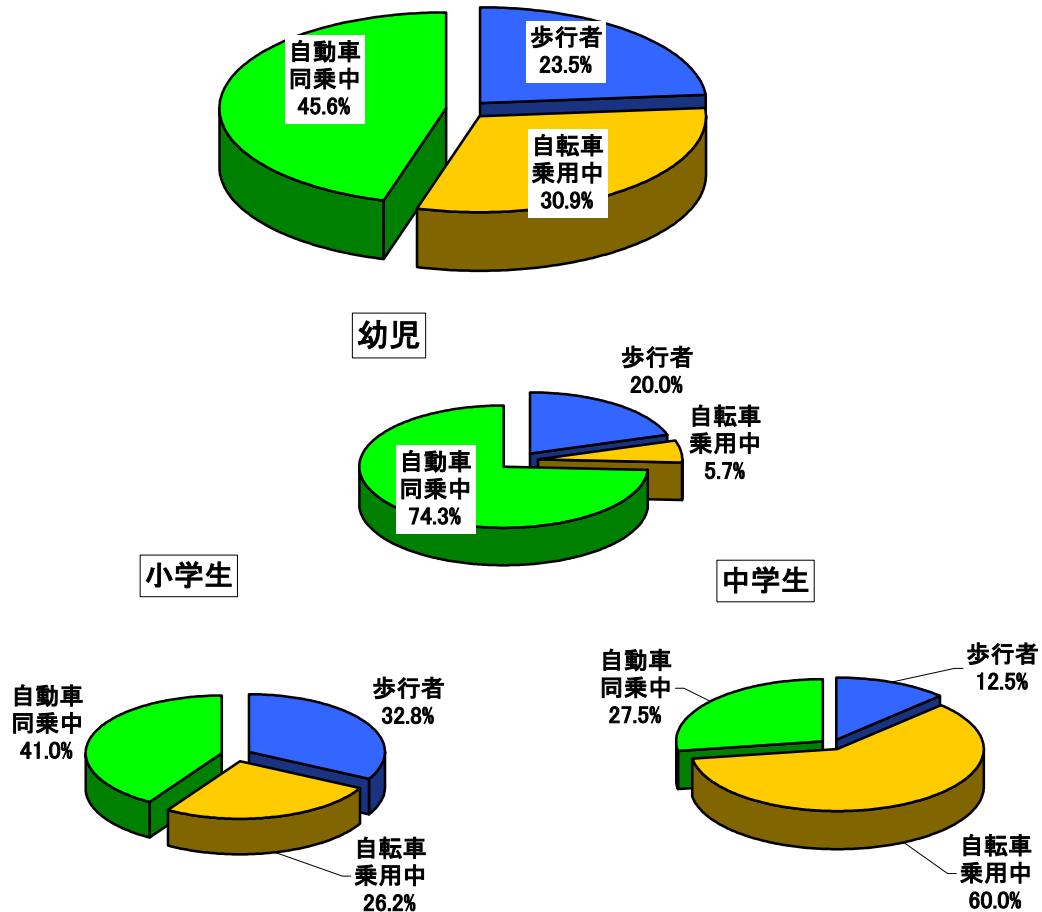
子供の負傷者数を状態別で見ると、自動車同乗中が全体の45.6%で最も多い。

学齢別で見ると、幼児は、自動車同乗中が74.3%を占めている。

小学生は、自動車同乗中、自転車乗用中、歩行者がほぼ平均している。

中学生は、自転車乗用中が全体の60%を占め最も多い。

状態別負傷者の割合



		歩行者	自転車		自動車		二輪車		合 計
			運転中	同乗中	運転中	同乗中	運転中	同乗中	
死者数	幼児								
	小学1～3								
	小学4～6								
	中学生								
	計								
負傷者数	幼児	7	1	1		26			35
	小学1～3	16	5			8			29
	小学4～6	4	11			17			32
	中学生	5	24			11			40
	計	32	41	1		62			136

4 高齢者の交通事故

(1) 高齢者の交通事故の推移

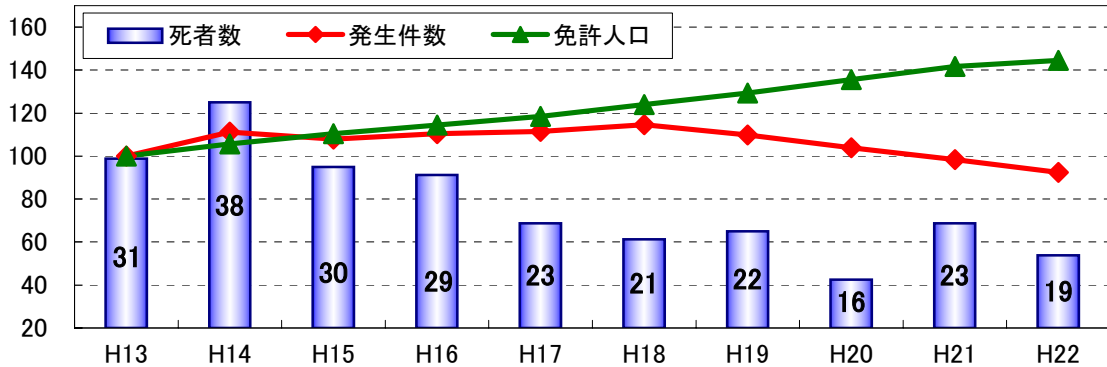
高齢死者は、前年に比べ4人減少

全死者に占める割合は45.2%で平成15年(49.2%)以来7年ぶりに50%を下回った。

高齢者が第1当事者の事故は、4年連続で減少

高齢者免許人口は平成13年の約1.5倍と増加傾向で推移

(指数)



* 発生件数は高齢者が第1当事者の事故件数。指数は平成13年を100とする。

	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22
発生件数	365	406	394	403	407	418	401	379	359	337
死者数	31	38	30	29	23	21	22	16	23	19
負傷者数	571	560	542	542	577	558	510	449	433	370
高齢者免許人口	47,209	49,864	52,159	54,022	55,917	58,491	61,063	64,029	66,881	68,218

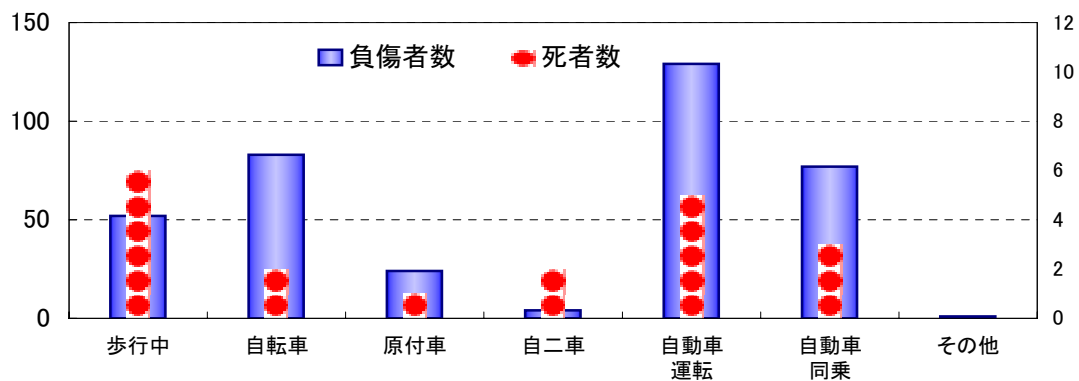
(2) 状態別死傷者数

高齢者の状態別死者数は、歩行中が6人で、高齢死者の31.6%を占めている。

負傷者は、自動車運転中が最も多く34.9%を占めている。

負傷者(人)

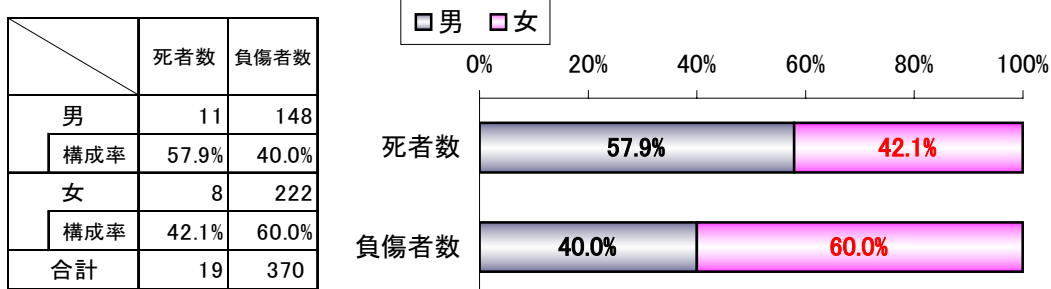
死者数(人)



	歩行中	自転車乗車中	原付乗車中	自二車乗車中	自動車運転中	自動車同乗中	その他	合計
死者数	6	2	1	2	5	3		19
構成率	31.6%	10.5%	5.3%	10.5%	26.3%	15.8%		100%
負傷者数	52	83	24	4	129	77	1	370
構成率	14.1%	22.4%	6.5%	1.1%	34.9%	20.8%	0.3%	100%

(3) 男女別死傷者数

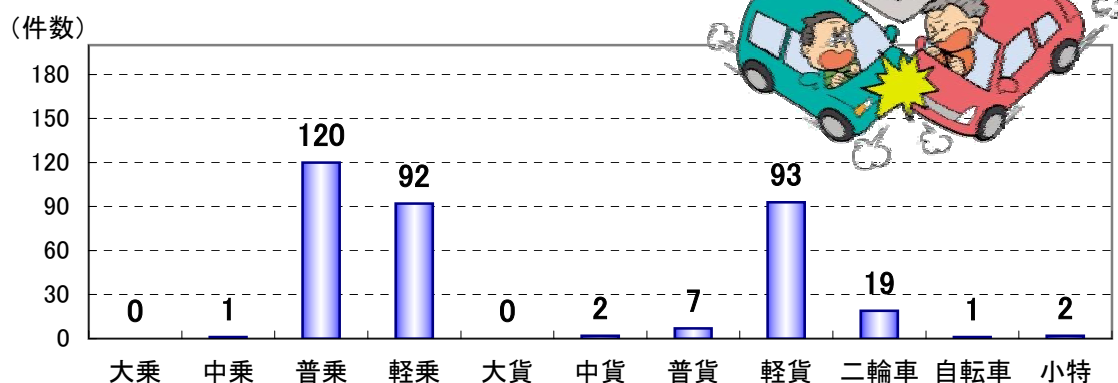
男女別では、死者は男性、負傷者は女性が多い。



(4) 高齢者(第1当)事故件数

高齢者が第1当事者事故の車種別では、普通乗用自動車が多く、次いで軽四輪貨物自動車、軽四輪乗用自動車の順となっている。

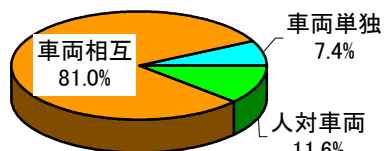
事故類型別では、出合頭、追突の順に多い。



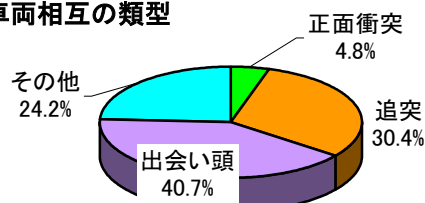
ア 第1当事者車種別・男女別

	大型乗用	中型乗用	普通乗用	軽四乗用	大型貨物	中型貨物	普通貨物	軽四貨物	自二車(含原付)	自転車	小特	合計
発生件数		1	120	92		2	7	93	19	1	2	337
男		1	98	55		2	5	71	12		1	245
女			22	37			2	22	7	1	1	92

イ 事故類型別



車両相互の類型



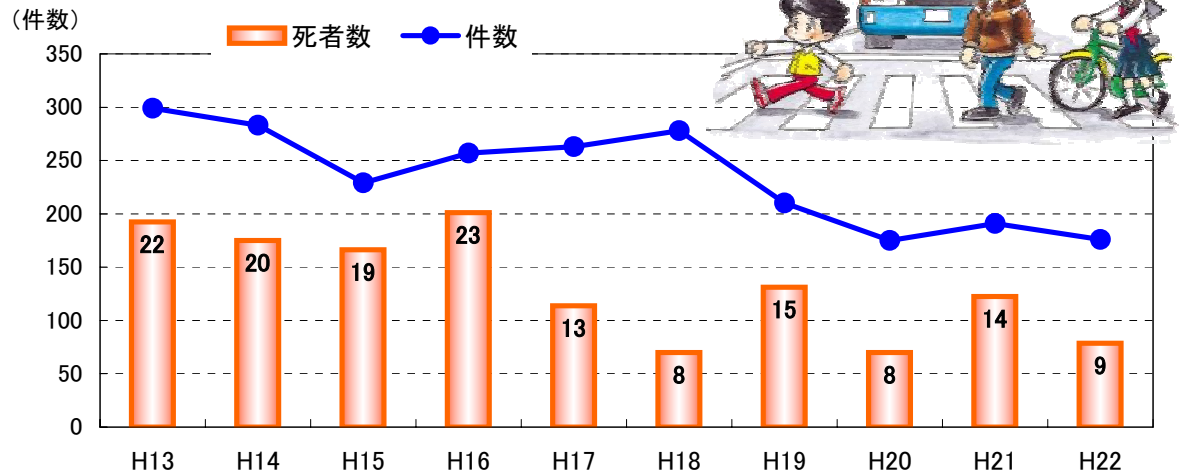
	人対車両		車両相互				単独	踏切	合計
	横断中	その他	正面衝突	追突	出合い頭	その他			
発生件数	22	17	13	83	111	66	25		337

5 歩行者の交通事故

～発生件数は歩行者事故の件数。件数、死傷者数は、歩行者事故の当事者の数。～

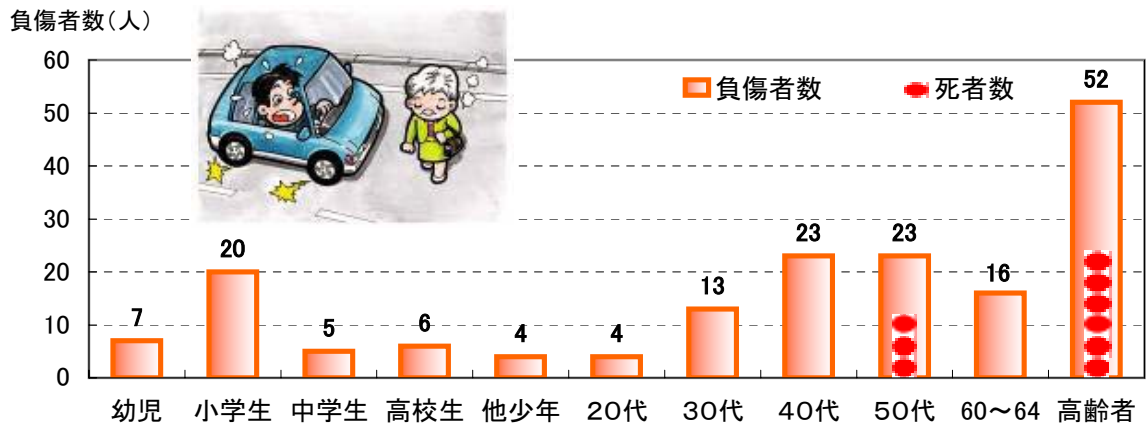
(1) 歩行者の交通事故の推移

前年に比べ件数、死傷者数とも減少した。



(2) 年齢層別死傷者数

死者・負傷者とも高齢者が多い。



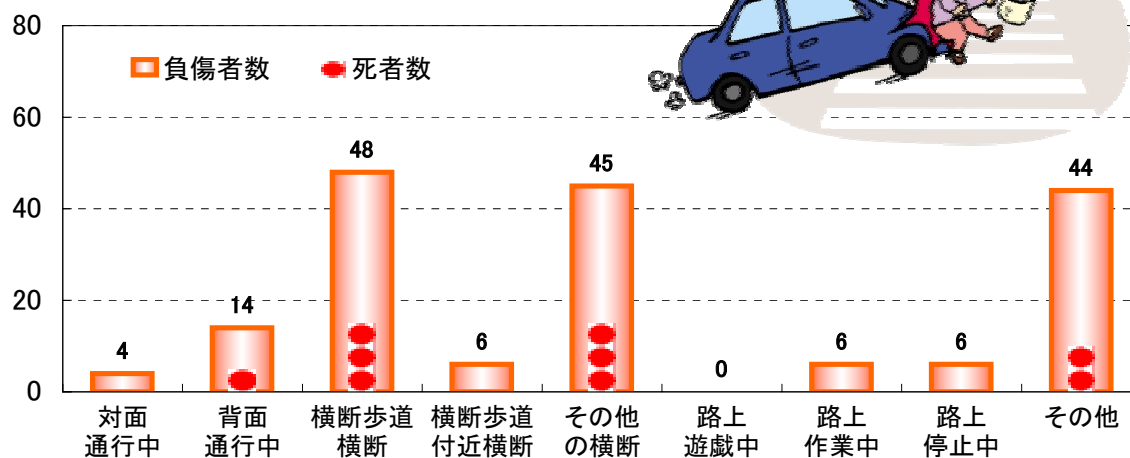
	幼児	小学生	中学生	高校生	他少年	20代	30代	40代	50代	60～64	高齢者	計
件数	7	20	5	6	4	4	13	23	26	16	58	182
死者数									3		6	9
負傷者数	7	20	5	6	4	4	13	23	23	16	52	173

* 1件の事故で、複数の歩行者が関わったものが6件あり。

(3) 事故類型別死傷者数

類型別では、死者、負傷者とも横断中の事故が多い。

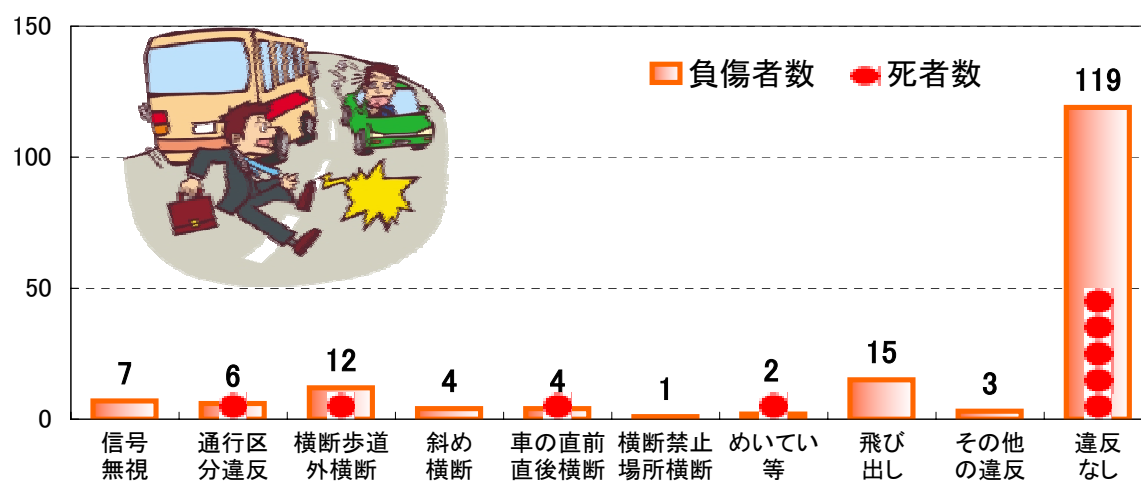
負傷者(人)



	対面通行中	背面通行中	横断歩道横断	横断歩道付近横断	その他の横断	路上遊戯中	路上作業中	路上停止中	その他	合計
発生件数	4	15	49	6	47		5	6	44	176
死者数		1	3		3				2	9
負傷者数	4	14	48	6	45		6	6	44	173

(4) 歩行者の違反別死傷者数

負傷者(人)



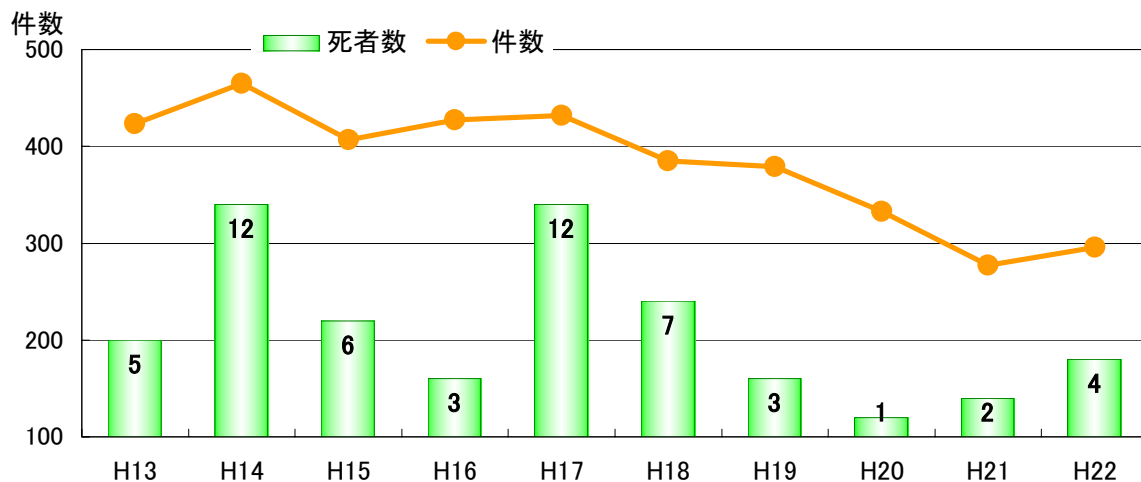
	信号無視	通行区分違反	横断歩道外横断	斜め横断	車の直前直後横断	横断禁止場所横断	めいてい等	飛び出し	その他の違反	違反なし	合計
死者数		1	1		1		1			5	9
負傷者数	7	6	12	4	4	1	2	15	3	119	173

6 自転車の交通事故

～発生件数は自転車事故の件数。件数、死傷者数は自転車事故の当事者の数。～

(1) 自転車の交通事故の推移

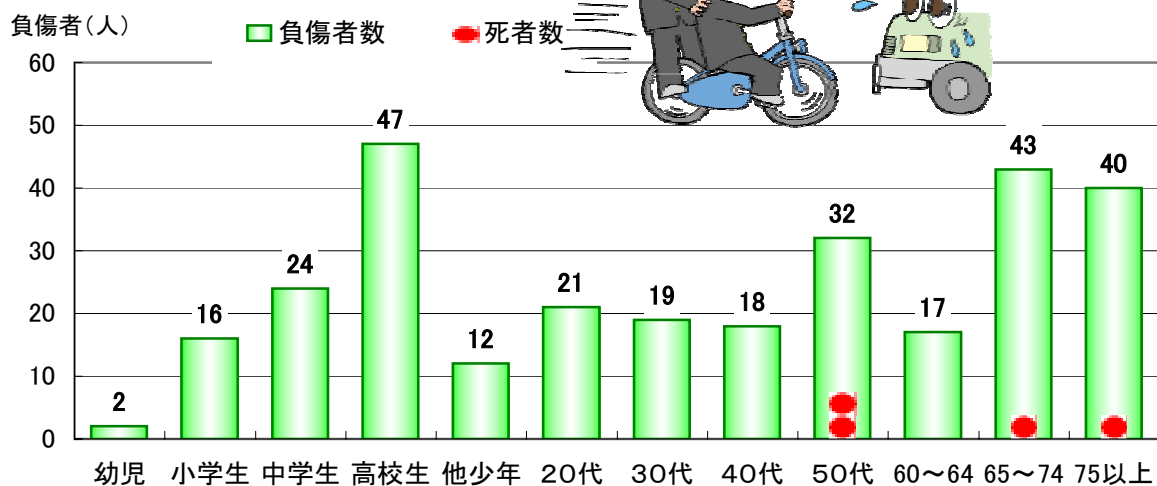
発生件数、死者数とも前年対比で増加に転じた。



	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22
発生件数	423	465	407	427	432	385	379	333	277	296
死者数	5	12	6	3	12	7	3	1	2	4
負傷者数	417	461	405	430	419	378	371	336	272	291

(2) 年齢層別死傷者数

年齢層別死傷者は、高齢者と高校生が多い。



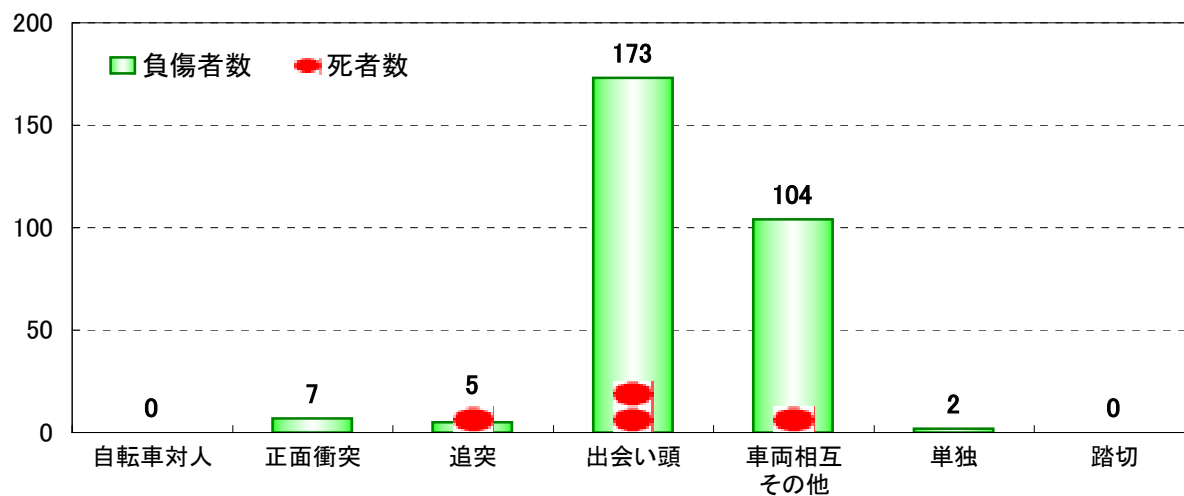
	子 供	高校生 等少年	20代	30代	40代	50代	60～64	高齢者	合計
件 数	42	64	22	20	18	34	17	85	302
死 者 数	0	0	0	0	0	2	0	2	4
負傷者数	42	59	21	19	18	32	17	83	291

* 1件の事故で、複数の自転車が関わったものが6件あり。

(3) 事故類型別死傷者数

事故類型別では、出会い頭が最も多く、半数以上を占めている。

負傷者(人)

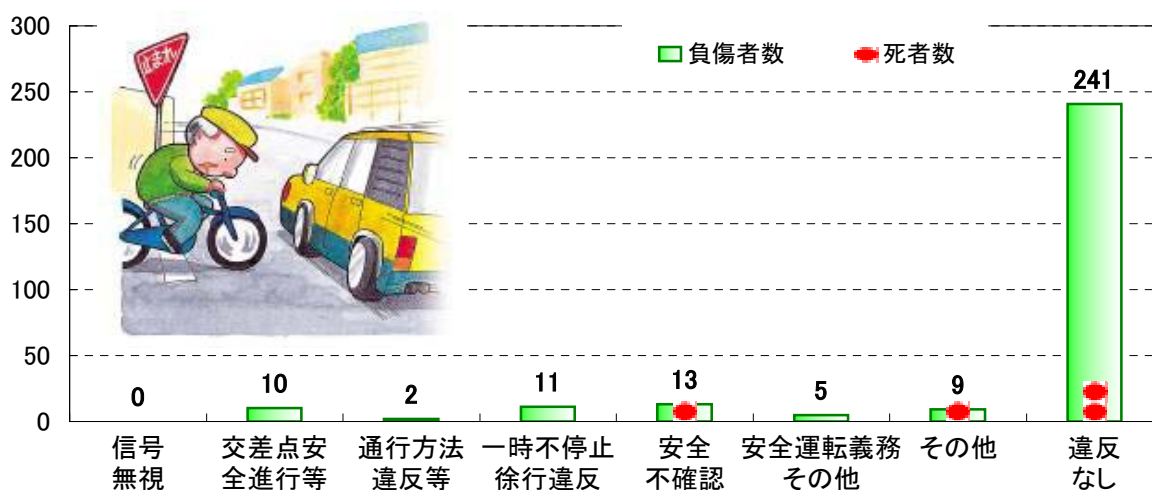


	自転車対人	車 両 相 互				単独	踏切	合計	うち 同乗中
		正面衝突	追突	出会い頭	その他				
発生件数	2	7	7	174	104	2		296	
死者数			1	2	1			4	
負傷者数		7	5	173	104	2		291	1

(4) 自転車の違反別死傷者数

自転車の違反別では、安全不確認や、交差点での違反が目立つ。

負傷者(人)



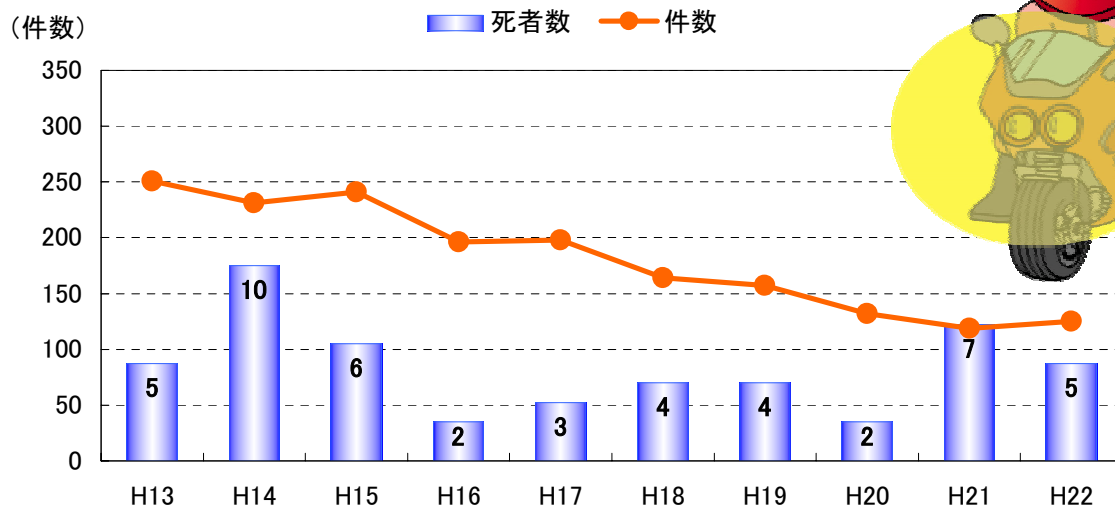
	信号無視	交差点安全進行等	通行方法違反等	一時不停止徐行違反	安全運転義務		その他	違反なし	合計
					安全不確認	その他			
死者数					1		1	2	4
負傷者数		10	2	11	13	5	9	241	291

7 二輪車(自動二輪・原付)の交通事故

～発生件数は二輪車事故の件数。件数、死傷者数は、二輪車事故の当事者の数。～

(1) 二輪車の交通事故の推移

二輪車事故件数、負傷者数は前年より微増、死者数は前年対比2人減少した。

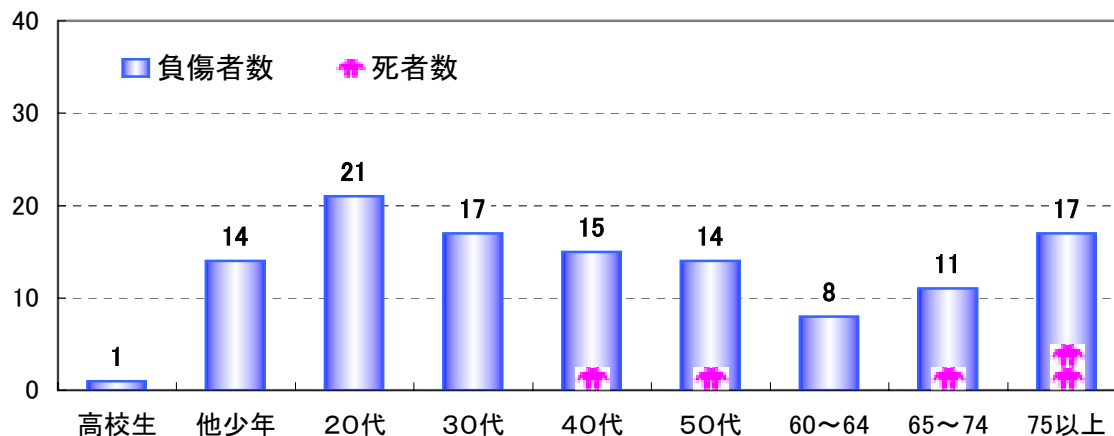


	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22
発生件数	251	231	241	196	198	164	157	132	119	125
死者数	5	10	6	2	3	4	4	2	7	5
負傷者数	236	211	230	184	181	147	150	122	108	118

(2) 年齢層別死傷者数(二輪車乗車中)

件数、死者、負傷者とも、20歳代と高齢者が多い。

負傷者(人)



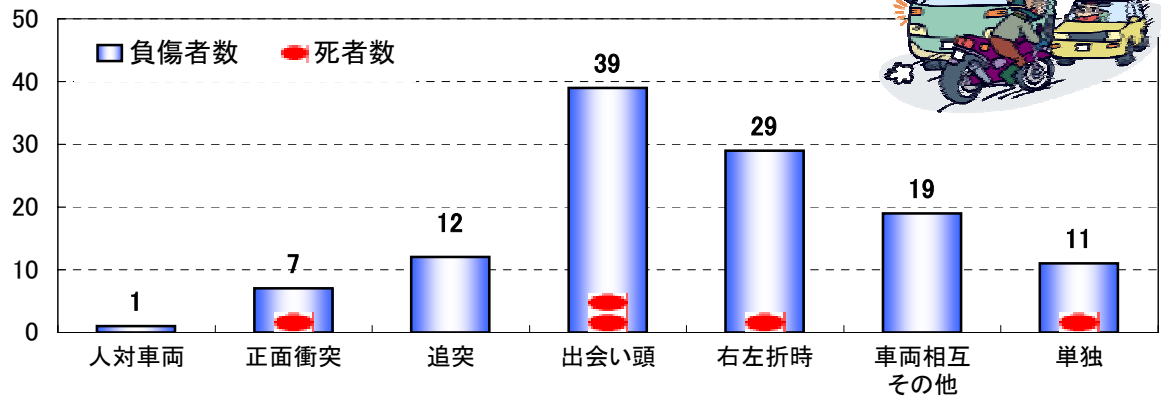
	高校生	その他の少年	20代	30代	40代	50代	60～64	高齢者	合計
件数	1	15	24	19	20	16	8	32	135
死者数					1	1		3	5
負傷者数	1	14	21	17	15	14	8	28	118

* 1件の事故で、複数の二輪車が関わったものが2件あり。

(3) 事故類型別死傷者数

事故類型別では、出会い頭と右左折時が全体の約半数を占めている。

負傷者(人)

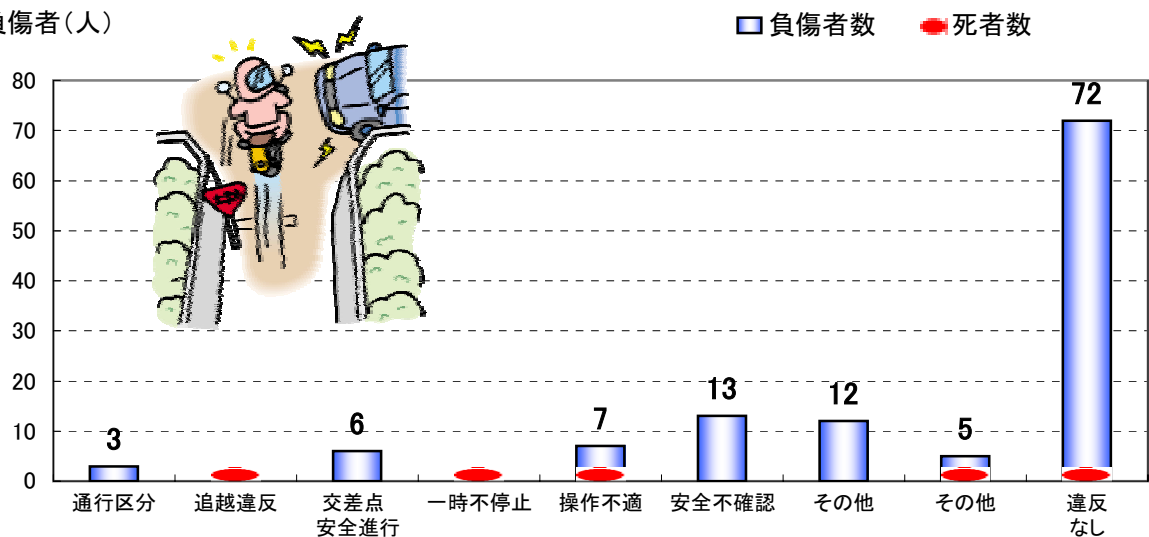


	人対 車両	車両相互					単独	踏切	合計	うち 同乗中
		正面衝突	追突	出会い頭	右左折時	その他				
発生件数	2	8	12	41	30	20	12		125	
死者数		1		2	1		1		5	
負傷者数	1	7	12	39	29	19	11		118	6

(4) 二輪車の違反別死傷者数

二輪車の違反別では、安全不確認、操作不適が目立つ。

負傷者(人)



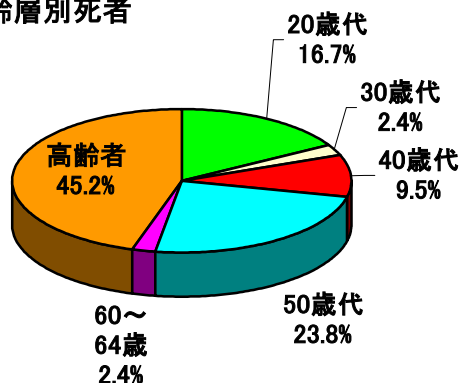
	通行区分	追越違反	交差点 安全進行等	一時 不停止	安全運転義務			その他	違反 なし	合計
					操作不適	安全不確認	その他			
死者数		1		1	1			1	1	5
負傷者数	3		6		7	13	12	5	72	118

8 交通死亡事故発生状況

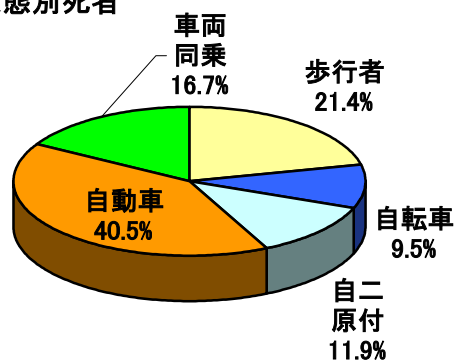
(1) 年齢層別・状態別死者数

死者の年齢層別では、高齢者が19人(45.2%)、次いで50歳代、20歳代の順となっている。
状態別では、自動車運転中が多く、次いで歩行中、車両同乗中の順となっている。

年齢層別死者



状態別死者

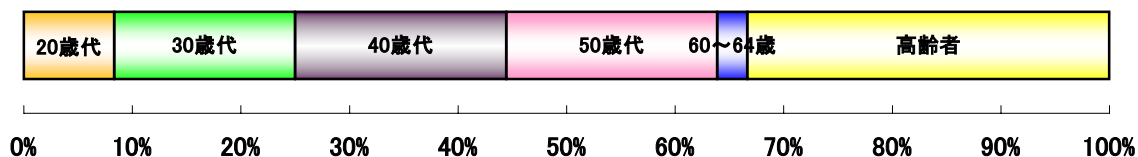


	子供	高校生	他の少年	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	高齢者	合計
歩行者							3		6	9
自転車							2		2	4
自二・原付						1	1		3	5
自動車				4	1	3	3	1	5	17
車両同乗				3			1		3	7
合計				7	1	4	10	1	19	42

(2) 第1当事者の年齢層別・状態別件数

死亡事故の第1当事者の年齢別では、高齢者が12件で最も多い。

状態別では、自動車運転中が大半を占める。

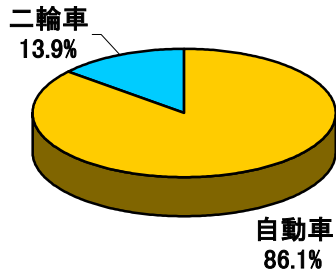


	高校生	他の少年	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	高齢者	合計
自動車			3	5	6	7	1	9	31
自二・原付				1	1			3	5
自転車									
その他									
合計			3	6	7	7	1	12	36

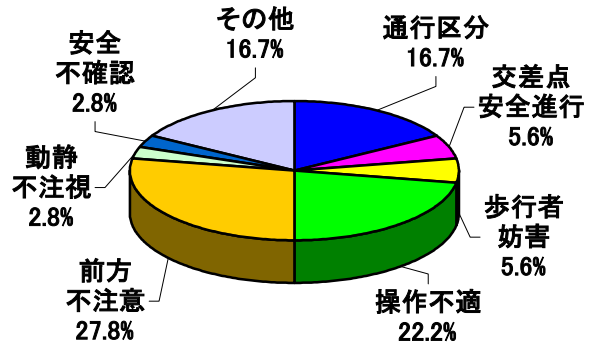
(3) 第1当事者の状態別・違反別件数

違反別では、前方不注意が最も多く、27.8%を占めている。

第1当事者の状態別



第1当事者の違反別



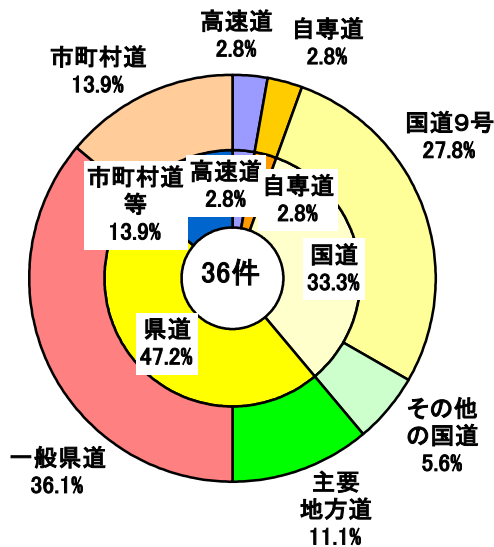
	通行区分	交差点安全進行	歩行者妨害	操作不適	前方不注意	動静不注視	安全不確認	その他	合計
件数	6	2	2	8	10	1	1	6	36

(4) 路線別・道路形状別件数

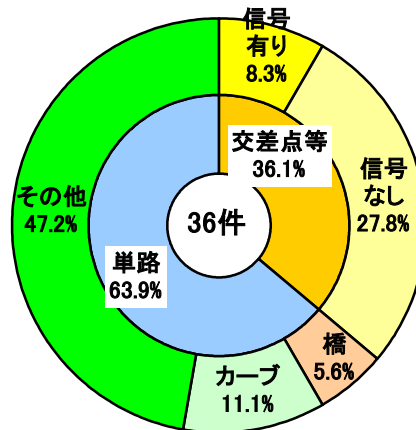
路線別では、県道が47.2%を占めている。

道路形状別では、単路での事故が最も多く、63.9%を占めている。

路線別死亡事故



道路形状別死亡事故



	高速道	自専道	国道				県道	市町村道	その他	合計
			9号	29号	53号	その他				
件数	1	1	10			2	17	5		36

	交差点等			単路				踏切	その他	合計
	信号あり	信号なし	計	橋	カーブ	その他	計			
件数	3	10	13	2	4	17	23			36

平成22年版

図 解 交 通 年 鑑

鳥取県警察本部交通部交通企画課

鳥取市東町1－271 TEL 0857-23-0110
